

「躍動（やくどう）と躍進（やくしん）の年」

校長 青海 正

新年、明けましておめでとうございます。始業式には、体育館で志茂中生の元気な姿を目の前にし、また新たな年を迎えられたことを大変うれしく思いました。

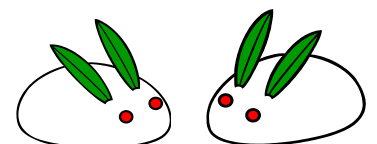
今年の干支（えと）は「兎（ウサギ）」です。ウサギは、穏やかで、温厚な性質であり、ピョンピョンと飛ぶその姿から飛躍や向上を象徴すると、親しまれてきました。新しいことに挑戦するには最適な年とされています。私たちの生活が、今までの数年間からウサギのように大きく跳躍（ちょうやく）し、飛躍する希望に満ちた一年となってほしいものです。地域、生徒、保護者、教職員等、皆さんにとって、2023年という年が良い年になりますよう、そして、生徒の皆さんは新年を迎え、何かを始めるチャンス、絶好の機会としてほしいと思います。

さて、日本の伝統や昔の生活などに触れられる数少ない機会である「お正月」、皆さんのお正月はいかがでしたか？ 我が家には、家族全員で、例年同じことを繰り返して来た習わしがあります。大したことはありませんが、少し紹介します。まず、暮れの3日間で墓参りと家の大掃除を分担して徹底的に行います。大晦日の夕方には、一年の疲れを癒す意味で近くの銭湯へ行き、その後紅白歌合戦を観ながら年越しそばを食べて、カウントダウンをします。また、元旦は6時50分頃「初日の出」を家のベランダから見て、朝食にお雑煮をいただきます。午後からは、親戚が一同に集（つど）います。翌日には、箱根駅伝の選手を応援（往路8時35分頃、第二京浜沿いの梅屋敷駅付近）に行き、養源寺と池上本門寺へ初詣に出掛け、お囃子（はやし）に合わせて獅子舞に頭を噛んでもらいます。

大した習わしではありませんが、家族が揃って一緒に同じことをして過ごす。コロナ禍ではありますが、感染症対策を講じた上で特段の行動規制がないことにより、日常のお正月に心から感謝しました。社会的には「コロナとの共存」が様々に模索される中、年の瀬から年始にかけて、第8波と言われるコロナ感染が拡大しています。未だ新規感染者数は高止まりし、新型コロナとの戦いが続いています。インフルエンザの同時流行も懸念されています。本校では、今年は躍動（やくどう）と躍進（やくしん）を目指し、アフターコロナを見据えた教育活動にシフトして行きたいと考えています。3学期も引き続き、感染予防の継続をお願いします。

なお、授業や休み時間等に会話をする場合、混んでいる乗り物やお店の中、街中へ出掛ける場合には、不織布マスクをお勧めします。国立大学法人豊橋技術大学のプレスリリース「コロナウイルス飛沫感染に関する研究」によると、不織布マスクは、吐き出し飛沫量約80%カット、吸い込み飛沫量約70%カット、ウレタンマスクは吐き出し飛沫量約50%カット、吸い込み飛沫量は約30~40%カットと言われ、不織布の効果は歴然だからです。

3年生の希望の進路実現や1・2年生の進級に向けた準備に向け、教職員一同、全力で応援していきたいと思っております。今年もどうぞよろしくお願いたします。



「いのちの授業」 主幹養護教諭 滝口 佳子

12月16日 5、6時間目に東邦大学名誉教授・齋藤益子先生、東京医療保健大学・学生の方々による「いのちの授業」を実施しました。5時間目、齋藤先生からは心身の成長や変化、LGBTQについてお話をしてくださいました。6時間目は男女各々グループワークで学生の皆さんの手作り教材で男女それぞれのテーマでお話がありました。そして、妊婦さんと同じ重さのベストを着け、新生児と同じ体重の人形を抱っこする体験をしました。

生徒の感想からは「妊婦さんや母親は大変だから席を譲ったりできることをしようと思う。」「自分が親になったら助けようと思った。」「グループワークで自分が悩んでいたことの話が聞くことができ解決した。」との声がありました。

「ふれあい月間の取り組み」 主幹教諭 平沼 貴史

毎年6月と11月は「ふれあい月間」としていじめ防止に取り組んでいます。志茂田中学校でも取り組みが整理され柱が3つあります。まずは「未然防止」。いじめが起きてからの対処ではなく、起こる前にできることをします。様々な場面で啓発を続けていきます。次に「早期発見」。生徒と教師の信頼関係が必要です。気軽に相談できる環境作りを心掛けています。そして保護者の方から信頼される学校、開かれた学校であるよう努力を続けます。最後に「早期対応」。いじめ（可能性も含む）を認知した場合、組織的な対応をします。「複数対応・チームで解決」は今年度のスローガンです。どのような対応が適切か。保護者の方にもご相談しながら実施します。「安全・安心」に生活できる学校づくりを心がけています。いじめは許されません。誰かを傷つけてはいけません。相手を思いやり、尊重し合える心を育む志茂田中学校を生徒と共に、教職員一同創りあげていきます。

「弦楽四重奏 出張コンサート」

主任教諭 油原 真智子

「プロの演奏家が学校まで来て生演奏をしてくれるかもしれない！」大田区文化振興会から募集があり、応募したところ見事当選しました。11月25日(金)の午後、東京都交響楽団の楽団員の方が来て下さり、弦楽四重奏のコンサートが開かれました。2・3年生は、鑑賞教室が中止になったので、生演奏を聴く機会があって本当に良かったです。モーツァルト・第九・千と千尋・アラジン・八木節・ひばり・情熱大陸、と全部で7曲演奏してくださいました。最後は弦楽四重奏の伴奏で「校歌」を歌いました。校歌を弦楽四重奏で歌えるなんて！夢のような時間でした。

「意見交流会について」 1年生徒会担当 教諭 日置 彩

去る12月23日、生徒会役員は意見交流会に参加しました。今回の意見交流会は、大田区各中学校の生徒会役員たちが集まり、「情報モラルのスローガンを決める」というテーマについて意見を交換したり、自校の様子を話したり、他校の様子を聞いて参考にしたりといった貴重な機会となりました。

今回参加した4名の役員たちは、事前に多くの準備をし、少し緊張しながら臨みましたが、最終的には緊張も解け、生き生きと話す姿を見ることができました。

意見交流会で感じたことや、学んだことを活かして、今後も生徒会として活動していきます。

【1月・2月の主な行事】

1月

- 16日(月) 評議委員会
- 18日(水) 小中一貫教育の日 5カット
- 19日(木) PM文化祭準備 3.6カット
- 20日(金) 公開授業・文化祭展示
- 21日(土) 公開授業・文化祭展示
連合書初展(27日迄)
土曜授業
PM文化祭展示片付け
- 23日(月) 生徒朝会
- 25日(水) 避難訓練(不審者)・2年がん教育
- 27日(金) 書初席書会(代表生徒)
- 31日(火) 連合技家展始(2月7日迄)

2月

- 1日(水) 区教研(教科)5カット(給食有)
- 2日(木) 区教研(特設)
- 3日(金) 2学年 社会科見学(鎌倉方面)
- 7日(火) 1学年 社会科見学(横浜方面)
- 8日(水) 専門委員会
- 9日(木) 評議委員会
- 10日(金) 小6体験授業(給食無し)
- 13日(月) 生徒朝礼
- 16日(木) 特支社会科見学(横浜方面)

*お願い*PTAお便りのデータ配信(スクリレ)への登録をお願い致します。

(お問い合わせ・・・志茂田中学校 PTA shimoda.jhs.pta@gmail.com)

お願い 第2昇降口の利用について
授業中は、防犯のために第2昇降口を常時施錠いたします。ご理解のほど、お願いいたします。



意見交流会の様子



お話し給食の様子

「お話し給食」 読書学習司書 堀井直美

給食と図書共同企画「お話し給食」を昨年度から行っています。

コロナ禍により、飲食は「黙食」が基本となる中で、給食の時間を楽しく過ごせるようにという思いから始まりました。

絵本やお話が登場した料理を給食のメニューで再現し、校内放送で流す読み聞かせを聞きながら給食を味わいます。今年度は学期に一回行っており、1学期に紹介した本は『パンやのろくちゃん』・メニューは揚げ餃子、2学期に紹介した本は『ピーターラビットのおはなし』・メニューはぶどうパンとキャロットサラダでした。

お話の読み手は多くの方が協力してくれました。3学期の「お話し給食」はただ今企画中です。楽しみにお待ち下さい。